

平成26年12月25日

記者発表資料

雄物川・子吉川水系水質汚濁対策連絡協議会
事務局 秋田河川国道事務所、湯沢河川国道事務所

油の流出事故が多発しています！
～油類の取り扱いにご注意下さい。～

例年にない寒さ・降雪が続いていることもあり、家庭や事業所で暖房用燃料として灯油や重油等の取扱いがますます増えていますが、油流出に起因した水質事故も増えていきます。(雄物川・子吉川水系過去5年の12月水質事故平均件数は4件ですが今年には6件(平成26年12月20日現在) ※別紙1参照)

原因物質は全て油類で事故原因のほとんどが『ホームタンクからの小分け中にその場を離れた・コックを閉め忘れた』の人的ミスでした。

水質事故が発生すると、上水道の取水停止など住民生活に大きな影響を及ぼし、又、事故処理に要するオイルフェンスやマット等の費用は原因者負担となり、その規模によっては莫大な費用が請求されます。

水質事故を未然に防ぐため、油類の取扱に注意し落雪対策等を心がけて下さい。

1. 事故処理費用は原因者負担です。

・河川等への流出を防ぐために設置したオイルフェンスや吸着マット、人件費等の事故処理に要した費用が請求されます。(数万～数十万円)

2. 油流出事故を防ぐための心がけ。

- ・給油中はその場を離れない、目を離さない
- ・落雪対策をきちんと行う。

3. 川で油膜を発見した時や、万が一、油事故を起こしてしまったら。

・すぐに市町村窓口や消防、警察、県や国の機関に連絡願います。迅速な対応が被害の拡大を防ぎます。

< 発表記者会：秋田県政記者会 >

問い合わせ先

雄物川・子吉川水系水質汚濁対策連絡協議会 事務局

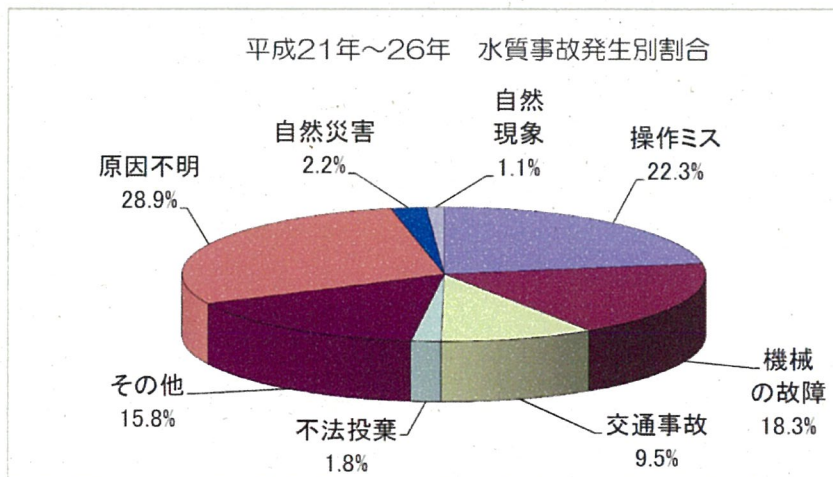
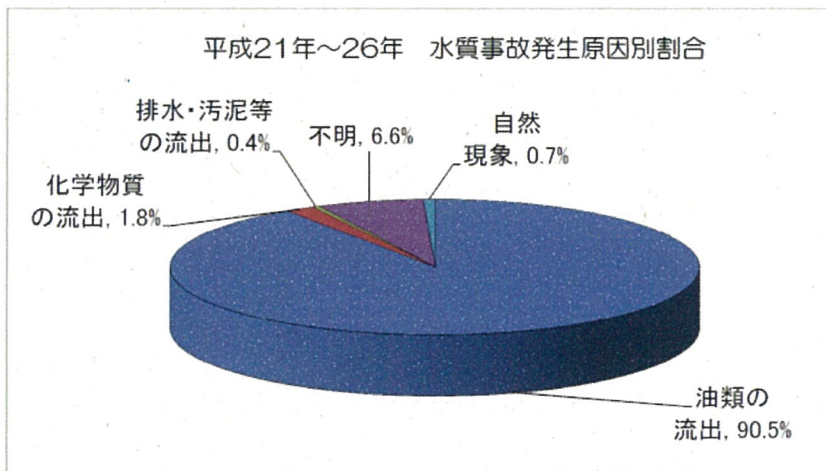
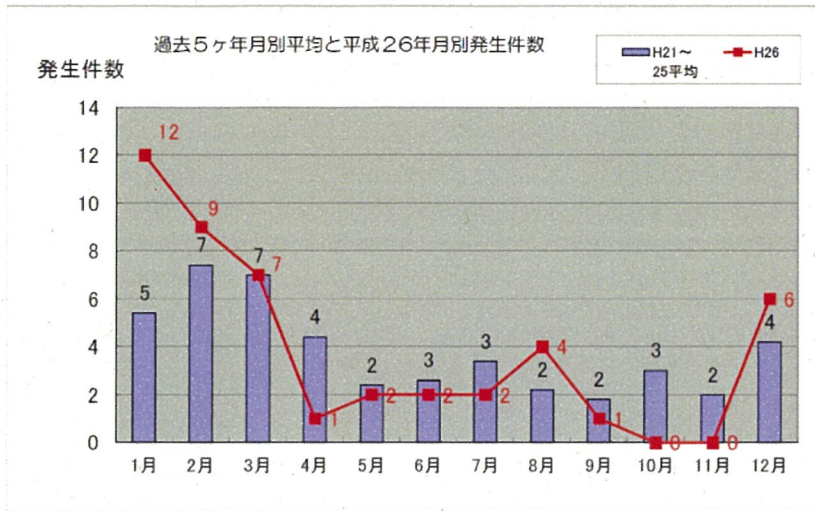
国土交通省 東北地方整備局

(雄物川 下流支局、子吉川) 秋田河川国道事務所 Tel 018-864-2290
副所長(河川担当) なかがわ 中川 ひろき 博樹 (内線204)
河川管理課長 ななお 七尾 しげあき 重亮 (内線331)

(雄物川 上流支局) 湯沢河川国道事務所 Tel 0183-73-5340
副所長(河川担当) さとう 佐藤 のりお 徳男 (内線204)
河川管理課長 こせき 古関 おさむ 修 (内線331)

水質事故発生件数等

【別紙1】



※データは全て平成26年12月20日現在。

※水質事故発生原因割合・水質事故発生割合は平成21年～26年までの平均による割合。

油の流出事故が多発しています！

最近、一般家庭のホームタンクや事業所のタンクから、灯油などの油類が漏れ出し、河川などに流れ出す事故が増えています。そして、その多くが人的ミスによるものです。



油 1缶 50 万 !!

事故を起こすと油の回収・処理に
約50万円の費用が
かかってしまいます。そして、その費用は
事故を起こした**原因者**が責任を持って
負担しなければなりません。

油流出事故を 防ぐための 心掛け

- **その場を離れない・目を離さない**
ホームタンクなどから灯油を小分けするときは絶対にその場を離れないようにしましょう。
- **屋根からの落雪や除雪時には注意を**
屋根からの落雪や除雪時に給油管破損やホース脱落に注意しましょう。
- **配管の場所には目印を**
配管の破損を防ぐために雪囲いをしたり、配管の場所が雪でわからなくなならないように目印を立てておきましょう。
- **定期点検を怠らない**
配管やホームタンクの定期点検に努めましょう。

事故を起こした場合また発見した場合は、
お近くの国や県の機関、市町村役場、消防署、警察署等へご連絡ください。